



教育・保育理念

- 子どもは町の宝である。
- 小野町の豊かな自然環境の中で「心が動く」直接体験を重ね、学びに向かう力や人間性の基礎が培われるようお願い、郷土を知り愛する心を育てていく。
- 子どもを取り巻く人々や地域の人々との交流を図り、みんなで子育てをする。

教育・保育目標

『心豊かに たくましく生きる 子ども』の育成

(めざす子どもの姿)

- 健康で明るい子ども
- 友達と遊べる子ども
- 自分で考え行動できる子ども
- 心の豊かな子ども
- 自然に親しみ、ものを大切にする子ども

基本方針

幼児教育の振興・充実

- ①幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、乳幼児期にふさわしい教育・保育を図る。
- ②家庭や地域および小学校との連携を密にした就学前教育の充実を図る。
- ③乳幼児の健全育成のため、子育てに関する相談・支援を図る。

学校教育との連携

小学校との連携を深め、小学校就学の学習へスムーズな移行を図る。

健康で明るい子ども

心身ともに健康で安全な生活や態度を身に付け、基本的生活習慣の習得を促す。

- ①基本的な生活習慣を身に付け、明るく伸び伸びと遊べる子どもを育てていく。
- ②自らからだを動かして、元気に活動できる子どもを育てていく。

友達と遊べる子ども

友達との関わりを通して、社会生活における必要な態度を身に付けられるようにしていく。

- ①好きな遊びを十分に楽しむ子どもを育てていく。
- ②友達との対話的な学びを通して、相手の気持ちが分かる子どもに育てていく。

自分で考え行動できる子ども

保育教諭や友達などとのやりとりの中で、自らの考えを広げ気付きや工夫をする体験を通して、自己を発揮できるようにしていく。

- ①自らの遊びを振り返り、期待を持ちながら挑戦していく子どもを育てていく。
- ②生活に必要なきまりに気付き、理解して行動できる子どもを育てていく。

心の豊かな子ども

さまざまな体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わえる保育に努める。

- ①直接的、具体的な活動を通して、心が動いたり、試行錯誤したりする体験ができるようにしていく。
- ②絵本や物語に親しみ、興味を持って聞き想像することを楽しむ子どもを育てていく。
- ③イメージを広げ、さまざまな表現を楽しむ子どもを育てていく。

自然に親しみ、ものを大切にする子ども (ESD*の取り組み)

身近な自然環境や人とつながろうとし、さまざまなことを自分のこととして考え行動する、持続可能な社会の担い手となるための能力や態度を育てていく。

- ①豊かな自然との関わりを通して、周りのひと・もの・こと、とつながろうとする態度を育てていく。
- ②友達や保育教諭、保護者などが温かくつながり、自分のしたいことやすべきことを見つけて取り組み、達成感を味わえるようにしていく。

*ESD：持続可能な開発のための教育